

製品名: PRMT5 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87076**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:73 kDa; Observed MW:73 kDa

抗原情報

遺伝子名	PRMT5
別名	JBP1; SKB1; IBP72; SKB1Hs; HRMT1L5
遺伝子 ID	10419
SwissProt ID	O14744
免疫原	ヒト PRMT5 の合成ペプチド

背景

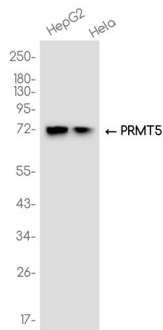
この遺伝子はメチルトランスフェラーゼファミリーに属する酵素をコードしています。コードされているタンパク質は、ヒストン、

転写伸長因子、腫瘍抑制因子 p53 などの標的タンパク質において、アミノ酸アルギニンへのメチル基の転移を触媒します。この遺伝子は、転写制御や小さな核リボ核タンパク質の組み立てなど、いくつかの細胞プロセスに関与しています。この遺伝子の偽遺伝子は 4 番染色体上に定義されています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015 年 9 月]

研究分野

-

画像データ



PRMT5 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HepG2、HeLa 細胞からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。